

ふれあい記録

実施日： 2025 年 4 月 24 日（木）

当番者名 江口正彦、熊谷信雄

コース名：足柄古道コース

（通し番号 第 205 回）

天 候： 小雨

参加者：相川勲、石井公子、江口正彦、神谷順子、熊谷信雄、新海昭、田中宏巳、鶴岡重典
西村寿文、細矢清志、宮原宏至、

<ビジター>笠井欣三、齋藤國男、野口和夫 （五十音順）

計 14 名 （内、男性 12 名 女性 2 名）

交 通（時刻）：集合 JR 足柄駅（静岡）改札口 9 時 20 分

<往路> 金沢文庫 7：05 発 ⇒ 7：13 着 上大岡 7：22 発 ⇒ 7：33 着 戸塚 7：47 発 ⇒
8：27 着 国府津 8：31 発 ⇒ 9：15 着 足柄（静岡）

コースタイム（時刻）：足柄駅 9：35 発⇒10：15 着 不動の滝（対面滝）10：20 発⇒10：25 着 銚子ヶ淵 10：30 発⇒11：50 着 足柄城址（昼食）12：40 発⇒12：50 着 足柄峠（関所跡）（トイレ休憩）13：00 発⇒13：05 着 足柄神社 13：20 発⇒15：00 着 矢倉沢バス停

<復路>

矢倉沢バス停（箱根登山バス）15：26 発⇒15：38 着 関本バス停⇒（徒歩）15：43 着（伊豆箱根鉄道）大雄山 15：47 発⇒16：11 着 小田原（解散）16：25 発⇒16：29 着 戸塚 16：42 発⇒16：53 着 上大岡 17：01 発⇒17：08 着 金沢文庫

みどころ：

- ・足柄古道の石畳

静岡県（駿河国）足柄から神奈川県（相模国）関本を結ぶ「足柄古道」は両県の境にある足柄峠（759m）を越える古道です。奈良・平安時代は官道とされていた。

- ・足柄之関

足柄峠の強盗団を取り締まる目的で 899 年に設置された。足柄峠は東海道最大の難所として有名だった。

- ・足柄明神跡

伝承によれば、日本武尊東征の時に明神ヶ岳から足利峠を越えようとして道に迷い、白鹿に導かれて無事に峠を越えたという言い伝えがあり、白鹿が祀ってあった。

※小雨が降り霧も出て足利峠付近から富士山は見えなかった。また予定していた足柄万葉公園夕日の滝は散策せず、地藏堂バス停には行かず、足早に矢倉沢バス停まで歩いた。

自然観察：

- ・小雨の中で新緑の木々が美しかった。帰りの茶畑で新緑の葉が目飛び込んできた。
- ・ツツジ、ハナミズキ、シャガ、椿、スミレニワトコが美しかった。
- ・昨日からの雨で小川の流れるは早く、不動の滝や銚子ヶ淵の滝が激しく流れ落ちていた。

特記事項：

- ・午前中は小雨が降り石畳の古道は滑りやすく少し歩いたが、主にコンクリートの舗装道路を歩いた。2 万 5 千歩余りを歩いて疲れた。当会としては久しぶりの雨での歩行となった。
- ・昼食は足柄城址の一つの東屋で全員が輪になって楽しく頂けたのは印象に残った。